

国語科「古典研究」授業実践紹介

授業者：長谷川 喜代美

学 年：3年

単元名：『論語』

単元のねらい（7つのチカラ： ①自分を理解するチカ ③考える）

- ①孔子がどのような人物か調べて読み取ることができる。
- ②パフォーマンス課題に取り組むことができる。

単元の流れとパフォーマンス課題

～『論語』の章句を読み取り調べたことを使い、孔子の人物像を説明することができる。～

- ① 『論語』の章句を読んで内容を理解する。
- ② 図書館の書籍やインターネットを使って、孔子がどんな人生を送ったのか調べる。
- ③ ②で調べたことを活用して、孔子の人物像を考え、i P a d（ドキュメント）にまとめる。
- ④ 自身が考える孔子像について発表する。



パフォーマンス課題の評価

	A	B	C
IV 読む	章句から読み取った孔子像について、根拠をもとに分かりやすく説明できる。 ①孔子の人生について調べたことが内容に盛り込まれている。②『論語』の章句を引用している。	章句から読み取った孔子像について、根拠をもとに説明できる。 ただし、①②とも文章に入っているが、結びつきが十分ではない。	章句から読み取った孔子像について、根拠をもとに説明できる。 ただし、①②の片方だけに触れている。

単元を通して身につけてほしいこと

本校では、様々な場面で『論語』に触れている。そこで、孔子がどのような人生を送り、どのような人物であったかをもっと身近に知ってほしいと考えた。授業で『論語』の章句を読んだり、書籍を調べたり、i P a dを使って調べたり、様々な方法を使って人物像に迫ってほしいと考えた。生徒自身、ほぼ2500年前の人物を知ることがいかに難しいか感じていた。しかし、様々な文献にあたり、それぞれ少しずつ内容が異なっていることを知った上で、自身の考えをまとめて発表する力を身に付けてほしいと考えている。